

人間文化学科通信

号外⑧

大内ゼミ紹介

大内ゼミは、広く「音楽文化」を扱います。ゼミの最終ゴールである卒業論文のテーマは実にさまざま。「アニソンの時代的変遷」「ヒップホップ・ミュージックの日本化」「鐘の文化史」「ボカロ・ミュージックの発達とメディア」「日本の野球における応援歌」「ディズニー映像作品における『歌』の役割」「歌舞伎と若者文化」「在日韓国人の音楽活動とアイデンティティ」などなど、ゼミ生それぞれが、一番興味をもって取り組むことのできる題材を扱います。

とはいえ、どんな題材であっても、「論文」に仕上げるには一定の手順が必要であり、それを訓練するのが3年のゼミです。テーマを設定し、必要な情報を集め、分析・考察し、結論を導く。その一連の過程を、3年前期はインタビュー集づくりを通じて演習します。この課題は、卒論への準備であるはもちろんのこと、いくつもの実践的な学びともつながっています。

テーマを決めるディスカッション、聞き取りの実践、原稿作成、お互いの原稿に意見を出し合い、他から学びとり、わかりやすい表現に磨き上げていく過程。これら一連の作業は、卒業後、社会に出たときにも、さまざまな場面で応用できる力になるはずです。

今年度のテーマは、「音楽は人生!」。期せずして、ゼミ生それぞれが過去に大きな影響を受けた方からお話を聞くことになりました。いずれもが個性豊かで魅力的な“lives with music”。インタビュー内容をまとめていくうちに、学生は、対象とした方の魅力、人間性をより深く理解し、そういう方と出会い大切なものを受け取っていたことに気づきました。それは、それぞれの自己肯定感にもつながる大きな経験になったと思います。

インタビュー集のページレイアウトも自分たちで。表紙・裏表紙デザインもゼミ生です。毎年、新たな工夫が加わるこのインタビュー誌ですが、今年度は、これまで1ページだった担当ページを2ページとし、より踏み込んだインタビュー集を完成しました。

